



しんじゅ

No. 39 発行所: 社会福祉法人 しんじゅ
2026年8月25日 発行人: 猪坂 一彦

本部事務所
ホーリーツリー東部
たおじ分室
ホーリーツリー西部
ホーリー離宮
ホーリーハウス
ステーションしんじゅ
福祉の店「いたやど」
ホーリー須磨
ホーリービンゴ

〒739-5350 神戸市須磨区須磨本町1-1-6
〒821-1586 神戸市灘区備後町3-2-22
〒987-2532 神戸市北区有野町有野字山原3689
〒739-5360 神戸市須磨区須磨本町1-1-6
〒754-6760 神戸市須磨区離宮前町1-1-29
〒739-5390 神戸市須磨区須磨本町1-1-6
〒731-3340 神戸市須磨区離宮前町1-1-29
〒733-2477 神戸市須磨区大黒町2-2-12
〒739-5359 神戸市須磨区須磨本町1-1-6
〒846-1812 神戸市灘区備後町3-2-22



* ホームページ <https://www.shinju.or.jp>

事業所だより

ホーリーツリー西部

【夏が来た!】

七夕も過ぎ、梅雨も明け、本格的な夏がホーリーにもやってきました。今年もしんじゅの樹の根元からは、続々と蟬の幼虫が羽化するのために登ってきています。

ホーリーツリー西部ではアイスクリームやクラゲのモチーフを天井からつるし、少しでも涼しい様子を演出しています。利用者さんも夏祭りの準備に取り掛かり、看板や催し物の制作に取り掛かっています。今年は盆踊りで盛り上がるかとこれからの夏への思いを馳せる日々を送っています。



天の川



・利用者の皆様が自分らしく、安心して過ごせる場所であるために
お一人お一人の声を傾け、意思を尊重しながら「今日も楽しかった」「ここに来てよかった」と感じてもらえるように、職員一丸となり心のこもった支援に努めます。
ご家族の皆様からも信用され、職員同士が「仲良しクラブ」にならないようお互いしつかり意見を言い合える風通しのいい職場づくりに全力を尽くします。

【抱負】

施設長 三宅 茂之

今号は、前号でお知らせしました三施設長の思いを記載しています。その込めた思いが職員を動かし、利用者にとつかりと伝わりました活動報告をご覧ください。

に基づいて。

社会福祉法人しんじゅ 理念

- 1、愛情をもつてふれあい 共生のなかで人間性豊かな人生を築こう
- 2、安全で安心して生活できる場を実現しよう
- 3、自由で尊厳ある人生を全うしよう

ホルムズ海峡の動静に一喜一憂の毎日です。原油の備蓄放出で需要は賄われているもののいつ復旧するのでしょうか。ナフサの代替調達も進んでいるようですが、ナフサ由来のプラスチック製品への影響。そして物価の上昇。
しんじゅの各事業所は、そんな世上の不安を持ち込まないように利用者対応に努めています。

【理念】

理事長 猪坂 一彦

【振り返り】

副施設長 久保 成起

自分自身のことを振り返ると日々の業務に追われて、利用者さん一人ひとりと向き合えていたのだろうか、この仕事を志した時の気持ちを忘れていないだろうかなどなど自問自答を繰り返す毎日です。目の前の利用者さんを笑顔にできる、自分も笑顔になれる支援（介護）を心がけて長年利用者さんと係わってきましたが自分がしてきたことはどれくらい影響があったのか...
ただ長年経験を積み重ねると、自分のことだけでなく携わる部署や法人全体のことまで考えていかなければなりません。自分の根底にあるのは先ほど書いた、笑顔にできる・なれる支援です。全ての職員にそれを求めることは難しいと思いますが、少しでもその気持ちを持つていただければと思います。しんじゅにおいてもまだまだ課題が山積みで何から手をつけていいのかわかりませんが利用者さんが来たい、住みたいと思っていけるような施設づくりを心がけていきたいと思っています。利用者さんの幸せの追求は自分自身の幸せの追求にも繋がります。おがましいですが全ての利用者さんの意思決定、意思表示を大切に、ご自身の望まれる生活を送ることが出来るようにこれからも微力ながら頑張りたいと思います。

事業所だより

ホーリー離宮

ホーリー離宮では創作活動・音楽療法・園芸療法・動作訓練等さまざまなプログラムを毎日行っています。

その中でも特に利用者さんに人気のプログラムを紹介します。

*ホーリー離宮の菜園に春先に植えたジャガイモの収穫を行いました。スコップなどで土を掘り起こし茎を手で掴み引っ張り上げると、鈴なりのジャガイモが出てくるので「採れたー」「いっぱいいつてる」と言いながら腕を大きく上にあげてお互いに笑顔で見せ合っていました。季節に合わせて苗を植えお昼休みに順番に水やりをしたり、お花や野菜が日々成長していく様子を見ながら利用者さんとスタッフが「次は何植えようか?」「そろそろ収穫できる?」と会話をしながらみんなで園芸を楽しんでいます。

*調理自習でポップコーン作りに挑戦しました。アルミ鍋付きのポップコーンを利用者さんがスタッフと一緒に鍋をゆっくりと回しながら加熱しました。段々と鍋の中が膨らんでいく様子を見て音がそろそろ出るかとドキドキしている様子がとても面白く、最初の一粒が「ボンッ」と弾けるとみんなの気持ちが一気に高まりました。鍋を回しながらボンボンボンとどんどん増えていく様子は嬉しくて楽しかったです。不慣れなので少し焦がしたり、イチゴ味なのに砂糖と塩を間違えて少し変な味になったりと少しだけ失敗もありましたが、それも経験とみんなで笑いました。部屋中にポップコーンの香ばしいにおいが広がって作りたてをロー杯にほおぼって食べると、自分達で作った特別感からか自然と笑みがこぼれ「おいしい」「おいしい」と次々に手を伸ばして食べていました。ポップコーン作りは利用者さんの五感（視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚）全部を刺激するすごく良い体験ができたと思います。

これからもホーリー離宮ではプログラムを通して利用者さんに様々な体験をしていただき、一日一日を楽しく過ごしていただけるよう工夫をしていきたいと思っています。



春ジャガイモの収穫



感謝

寄付

令和8年3月に厚く御礼申し上げます。
株式会社スターパックさま

(公財)中央競馬馬主社会福祉財団
及び
(一社)阪神馬主協会からの助成

神戸市福祉局政策課の斡旋により、二団体の助成を受け、ホーリー離宮にダイハツ「アトレー」(車椅子仕様)を導入しました。
狭い道路でもスイスイと朝夕の送迎や移動支援に大活躍しています。ありがとうございました。



大活躍のダイハツ「アトレー」

ホーリーツリー東部の令和8年度はリスタートをした思いでの走り出します。

様々な事があります
がひとつひとつじっくりと基盤を固め今の時代の障害者支援と前理事長から培ってきたしんじゆの理念を練り合わせ、利用者一人一人の個性や特質に合わせた支援ができるよう努力すると同時に、本当に一生懸命支援をしている職員にとってやりがいや働き甲斐が得られる職場にしていきたいと思っています。



めんたいパークにて

ホーリーツリー東部

6月、梅雨入り前の晴天の日に、三田にある「めんたいパーク」へ外出しました。施設内の無料ゲームコーナーでは利用者、スタッフ共に熱狂し、笑顔あふれる楽しいひと時となりました。また、明太子の製造過程を見学し、明太子がどのように作られているのかを知る貴重な機会にもなり、ゲームも併せて楽しみながら、明太子のことをより深く知ることが出来たと思います。お土産コーナーでは、明太子や明太子を使ったお菓子の試食を楽しみました。初めて明太子を食す利用者もおられ、最初は「こんな味なんだ！」と驚かれた様子でしたが、食べていくうちに「美味しい」と喜ばれる様子が印象的でした。

この春からスタッフも増え、今回のように大人数でのお出かけもしやすくなりました。外出活動を通しての新たな経験や交流の機会を今後より増やしていけたらと改めて思いました。



HAT神戸 渚ちゃんと一緒に

ギャラリー



「楽しい世界」市川 達也さん（ホーリーハウス）



「月夜のシンデレラ城」中島 弘江さん（ホーリーハウス）

ホーリーツリー東部 たおじ分室

【地域とつながる活動】

OHANA プロジェクト

季節の花の種をまいて当番制で水やりをし、育った花苗を地域の方に配ります。今年は、春にヒマワリの種をまき、苗が大きくなってきています。

クリーンデイ

ウォーキングも兼ね、事業所近隣の清掃活動に取り組んでいます。毎回、ゴミ袋いっぱいゴミが集まります。

紙箱作り

毎月、チラシを折って卓上ごみ箱と手作りの壁飾りを作っています。近隣の寺院で活用していただいています。

干支飾り

今年は50個を目標に、みんなで「未」の干支飾りを作ります。年の瀬に感謝の手紙を添えて地域住民に配布しています。

「地域とつながる活動」を通して、利用者さんのやりがいと笑顔につながることを目標に取り組んでいます。



壁面飾り作り



OHANAプロジェクト



紙箱作り



紙箱お届け

ホーリーハウス

【いただきます! の幸せ時間】

7月11日（土）ハウスのメンバーで、ワールドビュッフェへ行ってきました。

店内には和・洋・中をはじめ、色とりどりのスイーツまで、思わず「あれも食べたい! これも食べたい!」と目移りしてしまうほどたくさんのお料理が並び、皆さん自然と笑顔に。料理を選ぶ時間から、ワクワクした様子が伝わってきました。

天ぷらやから揚げ、チャーハンなど、普段あまり口にしないメニューが特に人気で、お皿いっぱい好きな料理を盛り付ける姿が印象的でした。「お腹いっぱい!」と言いながらも最後はしっかりとスイーツを楽しんだり、「美味しいわあ、幸せやわあ」と思わず笑みがこぼれたり…。皆さんで顔を見合わせながら食事をする時間は、美味しさだけでなく楽しさや嬉しさも分かち合える、かけがえのないひとときとなりました。

普段は健康面を考え、食事制限やカロリー・栄養バランスに気を配りながら食事をされていますが、この日だけは少しだけそんなことを忘れて、「食べたいものを好きなだけ食べる」という特別な時間に。思い思いに好きな料理を味わい、心もお腹も満たされた一日となりました。

また皆さんでお出かけできる日を楽しみにしています。



編集後記

真夏日、猛暑日に続いて酷暑日が設けられました。猛暑日がうだるような暑さです。暑日は何を表現すれば良いのでしょうか。「心静かにあれば涼風自から（墨野立）」とはいかないものですね。会報配布のころには涼風が吹きますように。

（編集）